

効果の上がる家庭学習の方法とは
東京都墨田区立八広小学校 4 年生 3 クラスで考える

開倫塾
塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1) おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2) 私は、東京都墨田区の教育委員会にある学校支援本部から依頼を受け、10 月 23 日(日)に墨田区立八広小学校で 4 年生の皆さんに出張授業を行いました。今日は、そのお話を少しさせていただきます。

2. 効果の上がる家庭学習の方法とは 東京都墨田区立八広小学校4年生3クラスで考える

- (1) 出張授業のテーマは、「効果の上がる家庭学習の方法とは何か」でした。3 クラスとも同じ内容の話でよいからということなので、9 時 35 分から 45 分間、10 時 30 分から 45 分間、11 時 25 分から 45 分間と、3 回の授業をクラスごとに行いました。八広小学校の 4 年生は 1 クラス 35 名で、全部で 105 名です。授業には、その 105 名の子供たちと、子供たちと同じくらいの人数の保護者の方々が来て下さいました。
- (2) 子供たちと保護者の方々を前にして、私が最初にお話したのは、「家庭学習は何のためにするのか」についてです。私は、学校での授業内容を身に付けるために家庭学習はあるのだと思います。学校で一所懸命に授業を受けても、忘れてしまう場合が多々あります。ですから、学校の授業内容を忘れないため、身に付けるため、難しい言葉で言うと、「定着」させるために家庭学習が必要です。このようにとらえて家庭学習をすると、結果的に学校のテストでよい点が取れます。それが重なると、中学校や高校、大学に行ったときにその知識が使える、さらに社会に出ても使うことができます。だからこそ家庭学習は必要なのだというお話を最初にしました。
- (3) 次に、お話したのは「家庭学習をする際に大事になること」についてです。一番大事なのは、授業内容を「理解」すること・うんなるほどとよくわかることです。学校の授業をよく聴き、ノートをきちんと取り、自分で勉強していて意味のわからないことがあったら辞書や事典などで調べて、学習した内容をしっかりと「理解」することがまずは大事になります。「理解」なくして「定着」なしですので、学校の授業で学習した内容を「理解」することを基本として、その上で行うのが家庭学習ではないかと思います。つまり、家庭学習は、学校の授業でうんなるほどとよくわかったこと・「理解」したことを身に付ける・「定着」させるためにするものと考えるのが一番ふさわしい考え方だと思います。
- (4) 身に付ける中身は 3 つあります。1 つめは、学校の教科書や授業中に取ったノートをすらすら

読めるようにすることです。できれば、何も見ないですらすら言えるようにまでするとよいと思います。

(5) そのためにはどのようにしたらよいかと言いますと、最もよいのは音読練習であると思います。音読練習とは、声に出して何回も何十回も読む練習をすることです。教科書やノート、いろいろな教材がすらすら読めて、何も見ないですらすら言えるようになるまで音読練習をして、一度うんなるほどと「理解」したことをしっかりと身に付ける、これが一番目に大事であると思います。音読練習をしているうちに意味のわからないことばがあったら、どんどん辞書を引いて調べることも大事です。調べたことはノートに書いておき、何回も読んでその意味を覚えるようにして下さい。これが、「定着」の第1番目です。

(6) 次に大事なものは、正確に書けることです。音読練習を十分にしたらすらすら言えるようになったことは、何も見ないですらすら書けるまでにしましょう。そのためには、書いて覚える練習、つまり書き取り練習をすることです。書き取り練習の仕方は、文字通り同じことばを繰り返し繰り返しノートやいらぬ紙などに書く以外にありません。

(7) 放送をお聴きの皆さんの中にも、英語の単語や漢字を覚えるときに書き取り練習をされた方がいらっしゃると思います。これだけでなく、理科や社会、数学などのあらゆる科目で書き取り練習をするとよいと思います。また、書き取り練習は、音楽や美術、技術家庭、保健体育、総合学習などの科目にも効果があります。まずは教科書に書いてあることをすらすら読めるようにし、そのあとに書く練習をすると、本当によく身に付くからです。ですから、書いて覚える練習、つまり書き取り練習は、家庭学習としてふさわしい勉強方法であると思います。これが、「定着」の第2番目です。

(8) さらに、算数や数学などでなぜこのような答えになるのかがよく「理解」できた計算や問題については、計算や問題を見た瞬間にパッパッパッと答えが出るまでにすることが大事です。例えば、 $2 + 3$ という問題があったら、 2 に 3 をたすとはどういうことなのかをよく「理解」し、また、なぜ 5 になるのかをしっかりと「理解」した上で、 $2 + 3$ の問題を見た瞬間にパッと 5 という答えが出せるようにするのがいいです。 3×4 の計算では、 3×4 の意味がよくわかれば、答えが 12 になることもわかると思います。そこで、 3×4 の計算が出たら、パッと 12 と答えられるように練習します。これを計算・問題練習と言いますが、この練習を十分に行って、問題を見た瞬間に条件反射で答えが出るまでにするとよいと思います。これが、「定着」の第3番目です。

(9) 以上お話ししてきた音読練習、書き取り練習、計算・問題練習の3つを、「定着のための三大練習」と私は名付けました。この3つの練習は、学力をしっかりと身に付けさせ、確実に「定着」させますので、家庭学習には最適であると思います。

(10) 練習は不可能を可能にしますので、家庭学習に音読と書き取り、計算・問題練習を取り入れ、練習、練習、また練習に励んでいただきたいと思います。

3. おわりに

このようなことを、東京都墨田区立八広小学校の4年生に10月23日(日)の出張授業でお話をさせていただきました。

皆さんもぜひやってみて下さいね。